

# NAGAHORI REPORT

VOL. 28

発行所：NPO 法人 長堀 21 世紀計画の会・事務局（TEL06-6241-0505）

## この旗の下、 毎回、約 50 名が参加。 25 年続けた街の清掃活動

コツコツと街の清掃を続けて 25 年がたちました。清掃活動は、当会の基本的な活動です。現在、御堂筋・長堀通の清掃活動を中心に、不法看板撤去、放置自転車防止の啓発活動を、第 1 火曜日と第 3 火曜日の月 2 回実施しています。

昨年度は、21 回実施、清掃参加会員数は 47 社（個人会員含む）、延べ人数にして 897 名の方々が参加。毎回の参加人数は 40～50 名になります。

最近では、会員企業の社員さんのグループ参加が増え、毎回 50 名を超える人数で、街をお掃除しています。

清掃活動は、ビジネス街の井戸端会議。小さな異業種交流にもお役にたつのではないのでしょうか。

## 当会は「たばこ市民マナー向上エリア制度」活動団体に決定しました

大阪市では、御堂筋と市役所周辺は路上喫煙禁止地区に指定されていますが、それ以外の地域では、歩きたばこは野放し状態。そこで昨年 12 月、大阪市環境局は、市民団体と協働してたばこマナーの向上を目指す「たばこ市民マナー向上エリア制度」を設立。当会は、活動団体に登録されることが決定しており、既に活動時に掲示する幟（のぼり）も届いています。（裏面に幟の写真掲載）

活動団体は、普段活動している商店街や道路など人通りの多い場所で歩きたばこや迷惑たばこをしないよう、ティッシュやチラシを配付して、街頭キャンペーンや啓発活動を行います。

この取り組みは、環境・美化委員会（委員長・山内一郎さん）が担当し、清掃時に併せて活動していきます。



第 1 火曜日は朝 9 時 30 分から、第 3 火曜日は昼 12 時 30 分から清掃時間中、「よってこ」前にこの幟が立ちます。見かけたら、立ち寄ってみてください。

## 長引く不況、岐路に立つまちづくり活動

### 活路は、地域の大同団結と会員相互の結束

去る4月17日、ホテル日航大阪で開催「平成21年度総会」において、吉田理事長は、「当会は設立以来27年間、一貫してまちづくり提言活動を行ってきたが、昨年来の経済環境の激変に伴い、活動方針や組織運営のあり方について、再検討の時期を迎えた。活動を継続するには、時代に即応した活動に取り組む必要がある」と述べ、地域の諸団体と連携を図り、面的な広がりの中で地域活性化策を模索する必要性を強調した。

### 地域共通の最優先課題・放置自転車問題

当会は、まちづくり、御堂筋再生、御堂筋オープニングフェスタ、自転車問題対策、クリスマスイベント、会員交流、環境美化の7つの委員会で活動しているが、放置自転車問題は、地域共通の最優先課題である。そのため、会を挙げて各委員会が協同で取り組み、他団体と連携しながら、駐輪場の増設や自転車専用道路の設置を行政に要請し、放置自転車へのエフ付けやマナー向上の啓発など地域活動にも積極的に取り組んでいる。

また、御堂筋オープニングフェスタ委員会では、行政と連携を図り、第1回目より北エリアの運営を担当。アートを中心としたイベントを定着させている。

クリスマスコンサートも地域イベントとして定着。劇場（昨年はそごう劇場）の使用が可能ならば、今年は8回目の実施となる。

上記種々の活動の基盤となるのが会員相互の交流と親睦。委員会では、月例会・昼食会、セミナー（ワインセミナー、地域文化の講習会）、新年互礼会、忘年会、ビアパーティなど、年間に9回ほど、を実施している。

「交流・親睦会は、会員の皆さんがどんどん顔を合わせ、交流を深めていただくチャンス。多くの皆さんにご参加いただくために、より充実した活動にしていきたい。希望がありましたら、是非お聞かせください」と、森浦委員長。



以上、活動の概略を大急ぎで紹介しました。当面、こうした活動も忍耐と努力が求められる時代が続きそうです。会員相互の結束で乗り切りましょう。どうか、ご意見やご提案、日ごろ感じておられることを、どしどしお聞かせください。

**5月10日、御堂筋オープニングフェスタへの動員に、多くの会員の皆様にご協力いただき、ありがとうございました。**



「たばこ市民マナー向上エリア制度」の幟